

平成28年度大阪科学技術館 夏休みイベントに参加 ATAC25周年記念事業 工作教室「顕微鏡と空気自動車を作ろう」報告

大阪科学技術館の夏休みイベントは、普及事業部が、青少年を対象に科学技術知識をより深め、より興味をもってもらうために毎年開催しています。ATACは25周年記念事業の一環として、ものづくりの楽しさや大切さを子供たちに伝えようと、(株)アーテック様のご協力を得て、メンバー8名がこのイベントに初めて参加しました。

対象は小学生から中学生で、午前と午後合わせて40名の参加でした。イベント当日、8時半頃より行列ができました。整理券を勝ち取るため、待つこと1時間。長い行列ができ、9時半頃に到着した人は午後の班にまわるほどの盛況でした。

今回の内容は空気自動車と顕微鏡をすることです。先ず初めに主催者のセンター松本課長より、ATACの紹介と実施内容の説明がありました。5テーブル分かれた子供たちに、ATACのメンバー8名が寄り添い、部品の確認、組み立て手順を説明し、組立がスタートします。続いて協賛いただいた(株)アーテック石室様より自動車はなにで動くのか等のクイズあり、いよいよ組み立てに入りました。子供たちは理解が早く、どんどん自分で組み上げていきました。出来た子供は隣の子が悩んでいると教えてあげ、今の子供たちの持つ利他の気持ちに触れ素晴らしいと感じました。



ちゃんとできそう?
「・・・」

中には当初予想したようにセッティング不良でうまく動かない子もいました。ATACメンバーは、現役時代に身に着けたものづくりのコツを子供たちの目線に立って分か

り易く伝授。メンバーの補助により全員完成し、床でスピード競争などして空気の実感して貰いました。



少し不安そうに
落ち着きがなかつた子も、車が勢いよく走って嬉しそうに笑ってくれました。

次に石室様より顕微鏡についての説明があり、組み立てに入りました。作業の早遅は有りましたが、皆さん場の雰囲気にも馴染み、楽しく作業出来ました。完成してサンプルの観察をしました。初めて顕微鏡を目にする子も多くて、とても興味深く、達成感のある内容になりました。

自らの手を動かして考えて学ぶという、これからの時代に求められる「ものづくり」を先取りする学習となり、子供達にも科学技術への興味が芽生えたのではないかと思います。

この機会を与えていただいた大阪科学技術センター、協賛頂いた(株)アーテック様と先生役の石室様に深く御礼申し上げます。



何が見える?
用意してもらった大葉をセットして、「う～ん、ようわからへん」
「あっ! 見えた、見えた。なんか線みたいなの」

(保護者の方からのアンケート)

- ・楽しく勉強させていただきました。
- ・本日のイベントは子供だけでなく大人もワクワクする内容でした。
- ・ATACの皆様有難うございました。子供が夢中になってつくる姿を見て、参加して本当に良かったと思います。楽しいイベント有難うございました。
- ・子供も楽しんで、工作の授業も解り易かった。

(明石、辻阪記)